



「絵本」という想像の世界を楽しんで

野尻町読み聞かせグループ たんぽぽ

「野尻町読み聞かせグループたんぽぽ」は野尻地区の保育施設や小・中学校で絵本や紙芝居などの読み聞かせを続けてきたグループ。平成11年に活動を始め、令和2年には全国優良読書グループ表彰を受賞している。

「人の生の声を通して聞くお話の心地良さや、物語の中で心踊る想いを楽しんで」。同グループ代表の西原美茂子さんは、活動への思いをそう話す。

たんぽぽは現在14人で活動。月に1度の定例会で、読み聞かせのスケジュール調整や、読み聞かせる絵本についての意見交換などを重ねている。

「私たちは全員絵本が好きなんです。絵本の中にも空も飛べるし、海の中にも潜れる」と西原さん。読み聞かせを通して、子どもたちにさまざまな

夢を持ってほしいと話す。幼少期から続いたたんぽぽの読み聞かせを楽しみに待つ子どもたちは多い。実際、生徒達から読み聞かせ開催の要望が出された中学校もあるほどだ。

「子どもたちの視線が本に集まる瞬間の空気感、エネルギーから、私たちが元気をもらっています。とにかく楽しく、多くの人に経験してほしい」。

スーパードットでも子どもたちから声を掛けられるという西原さんは、笑顔でそのやりがいを語る。

「デジタルの時代だからこそ、地域のおばちゃんが生みの声で絵本を読み聞かせるこの活動は、絶対に無くしてはいけない」。

結成から24年。長年育んできた読み聞かせの輪を絶やさぬよう、彼女たちは今日も子どもたちと絵本の世界へ旅に出る。

活動拠点の本棚には、グループ結成から少しずつ増やしてきた絵本や紙芝居など400冊以上が並び、「ここまで読み聞かせ活動を続けてきた私たちの財産です」と西原さん

～一緒に活動してくれるメンバーを募集中！～
絵本が好きな人、子どもたちから元気をもらいたい人など、気軽に問い合わせください
Tel 090 - 2580 - 7915 (グループ代表)



林小人

こばやしびと
Vol.118